

道路占用許可申請のオンライン化

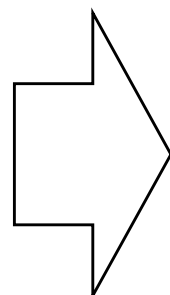
インフラの維持管理・修繕等に係る官民連携事業の導入検討
官民連携グリーンチャレンジモデル

①提案によって解決する自治体の課題のイメージ

【現状：自治体様の課題】

- ①窓口による対面型の申請中心のため、
営業時間内の対応といった時間的制約がある
- ②紙媒体による申請・管理中心なので効率化しにくい
- ③自治体と事業者で占用物管理を別々に行うため、
数量合わせ等の協議が発生

事務処理に追われ、本来業務に時間を割くことが厳しい
(ポットホール改修等)



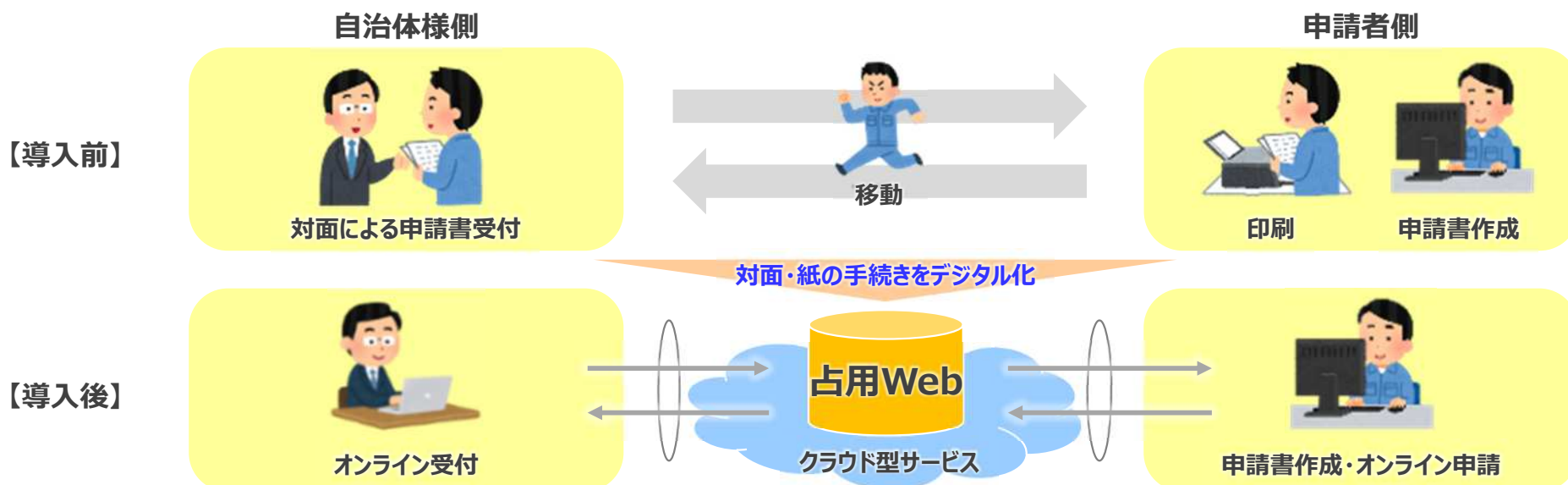
【将来：オンライン化のメリット】

- ①オンライン化により時間的制約、場所的制約を解消
- ②オンライン上で申請データを管理するため、
素早くアクセス可能
- ③自治体と事業者で占用物管理を同一データで行うため、
数量合わせ等の協議を省力化

道路占用許可申請を効率化することで本来業務に注力することが可能になる

②提案の概要

- 占用Webは、オンライン上で占用申請の受付、占用許可書の交付が簡単に行えるクラウド型の電子申請サービスです
- 占用Webの導入は、行政手続きのデジタル化を加速化させ、窓口対応による時間的拘束の軽減、紙媒体による事務処理の煩雑さの解消など、担当者様の事務手続きの効率化を実現します



道路占用許可申請のオンライン化

☑インフラの維持管理・修繕等に係る官民連携事業の導入検討
□官民連携グリーンチャレンジモデル

③スキーム（技術）の導入により得られる効果

1. 窓口担当者様の時間的拘束の削減

（窓口対応のゼロ化により担当者様のスケジュールに合わせた働き方を実現）

2. 書類差し戻し、再チェック稼働の削減

（申請項目の複写化・選択式化により、軽易な申請内容誤りを抑制）

3. 問い合わせ、許可書発行時の連絡対応の削減

（申請受領後の進捗状況が見える化し、申請者が審査状況を確認できる仕組みを構築）

4. 書類保管、検索稼働の削減

（クラウド上での情報の一元管理により、書類保管・管理での物理的な制約を軽減）

5. ペーパレス化、CO2排出量の削減（脱炭素社会への貢献）

（電子化によるペーパレスを実現/申請者の窓口訪問をゼロ化し、環境にやさしい行政手続きを実現）

その他

- 本取り組みは町田市様・水戸市様と協定を結び、共同検討を実施中
- 将来的には道路占用申請における受付以外に関する部分についてもオンライン化を目指す

道路占用に関する手続きのオンライン化を目指す

